

安心・安全なまちづくり

**化学消防自動車（峰山消防署配置）を
更新、3月30日から運用開始**

平成19年3月26日

京丹後市役所

消防本部では、昭和62年の業務開始以来、19年間使用してきた峰山消防署（峰山町丹波）配置の「化学消防ポンプ自動車」を更新しました。

車両は、総重量10トンクラス・シャシを使用し、フルタイム4輪駆動（旧車両については、総重量8トンクラス・シャシ、2輪駆動方式）で、従来より機動性に優れたものとしています。

積載装備は、化学消防自動車としての化学泡による危険物火災等への対応などの基本性能はもとより、車両火災等で活用可能な高圧噴霧消火装置の装備や水利不便地区での積載水を活用した消火の初期対応なども可能な車両としています。

また、職員の高齢化に備えて省力化（油圧昇降装置付ホースカーによるホース延長）や活動の安全化（チタン製積載三連梯子や車両内での空気呼吸器装着装置）に配慮したぎ装（装備）としています。

なお、この車両の更新に当たっては、緊急消防援助隊登録車両としての消防庁の緊急消防援助隊設備整備費補助金を受け、総事業費41,979千円で整備したものです。

消防本部では、30日（金）8:30の当直勤務交替にあわせて、新車両の運用開始に伴う配備式を行います。

化学消防ポンプ自動車

- ア．型式 化学消防ポンプ自動車 型(1,000ℓ水槽、300ℓ薬液槽装備)
低床フルタイム4WD、ABS装置付、6人乗り
- イ．年式 平成18年式 消防車専用検定シャシ
- ウ．諸元 回転半径 6.4m
総排気量 6.403L(過給機付)
出力 220PS
- エ．ポンプ主要諸元
真空ポンプ オイルレス方式、ヒータ装置付
主ポンプ A-2級(2,000ℓ/毎分)
操作部は自動揚水装置付(eモニタ装置(液晶表示))
中継圧力制御弁付(中継送水圧力自動調整装置)
- オ．緊急消防援助隊() 対空標識書き入れ
カーナビシステム

緊急消防援助隊・・・日本における全国的な消防応援の制度及び同制度に基づく消防部隊のことである。被災地の消防力のみでは対応困難な大規模・特殊な災害の発生に際して、発災地の市町村長・都道府県知事あるいは消防庁長官の出動要請により出動し、現地で部隊編成がなされた後、災害活動を行う。消防関係者の間では「緊援隊」(きんえんたい)と呼称されることが多い。